

施工状況報告書

【一戸建ての住宅用】

申請書類提出時にご記入いただき、

- ・WEB申請の場合は、データをアップロードしてください。
- ・郵送申請の場合は、控え（コピー）を提出してください。

（第一面）

建設住宅性能評価の申請を行うにあたり、施工状況報告書に記載する内容は、事実と相違ありません。

漢字・番地間違い、略称等では、評価書を交付できません。
建設住宅性能評価申請書・確認済証それぞれと一致している必要があります。

※太枠内については、建設住宅

建築物の名称*1	■■■■ 様邸新築工事 ← 建設住宅性能評価申請書 第三面		
建築物の所在地*2	地 名 地 番	〇〇県〇市〇町 大字□□字□ 〇番地〇号 ↑ 建設住宅性能評価申請書 第三面	
	（住所表記）	〇〇県〇市〇町 〇〇番地〇号	
工事施工者*3	住 所	〇〇県△郡△町 △△番地△号	
	名 称	株式会社 〇〇〇〇工務店 ↑ 建設住宅性能評価申請書 第二面	
	代表者の役職 代表者の氏名	代表取締役社長 □□□ □□□□	電話番号 000-000-0000

	検査対象工程	検査年月日	評価員の記名	施工管理者の記名
第1回目				
第2回目	各回 検査終了ごとに 評価員が記入いたします。		各回 検査終了ごとに 施工者管理者ご自身にて記入してください。	
第3回目				
第4回目				

〔記入要領(申請者)〕

- *1. 「建築物の名称」欄には、対象となる一戸建ての住宅が特定できる名称を記入してください。
- *2. 「建築物の所在地」欄には、対象となる一戸建ての住宅が特定できる地名地番を記入してください。
また、住居表示が定まっている場合は、当該住居表示を併記してください。
- *3. 「工事施工者」欄には、対象となる一戸建ての住宅の工事を行う、工事施工者の住所、名称、代表者の役職、代表者の氏名、及び代表電話番号を記入してください。

〔記入要領(評価員)〕

- ・ 「検査対象工程」欄、「検査年月日」欄及び「評価員の記名」欄は、評価員が各検査終了後に記入してください。
- ・ 再検査等により検査回数が増える場合は、第5回目以降は空欄を利用し記入してください。
- ・ 「検査対象工程」欄には検査を実施したときの工程を、「検査年月日」欄には検査を実施した年月日を記入してください。
- ・ 「施工管理者の記名」欄には、各検査終了後に施工管理者により記入ください。

- 施工状況報告書原本は、施工管理者が各検査対象工程ごとに自主チェックを行い、施工状況報告欄と氏名を記入し、検査日に現場で評価員に提出してください。

施工状況報告書【一戸建ての住宅用・軸組工法】

必須項目(第二面)

*自主チェック時期 1:基礎配筋工事完了まで、2:躯体工事完了まで、3:下地張りの直前の工事完了まで、4:竣工時まで

性能表示 事項	施工管理者 記入(報告欄)				評価員 記入(確認欄)								
	項目	確認内容	自主チェック時期				無	検査の方法	確認図書	検査時期	判定結果及び指摘事項の記録		
			1	2	3	4					1次	2次	備考
構造の安定に関すること	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法												
	基礎の構造方法及び形式等	基礎 (工法・形式等)	基礎の構造方法	☒	☐			A					
		☐ 変更あり	基礎の形式	☒	☐			A					
			基礎コンクリート強度	☐	☒			C	☐ 納品書				
			杭基礎の種類	☐	☐			A B C	☐				
			杭基礎の径	☐	☐			A B C	☐				
			杭基礎の長さ	☐	☐			A B C	☐				
	耐震等級	基礎 (寸法・配筋等)	基礎の配置	☒				B C	☐				
	その他	☐ 変更あり	根入れ深さ	☒				A B C	☐ 写真				
	耐風等級		基礎の厚さ	☐	☒			A B C	☐ 写真				
	耐積雪等級		耐圧盤	☒				A B C	☐ 写真				
			位置	☒				A B C	☐ 写真				
			断補強 (筋)の径、位置等	☒				A B C	☐ 写真				
			隅角部、開口周辺等の補強	☒				A B C	☐ 写真				
		免震建築物 ☐ 変更あり	免震層、免震材料	☐	☐			A C	☐				
		上部構造	☐	☐			A C	☐					
		下部構造	☐	☐			A C	☐					
		落下、挟まれ防止等	☐	☐			A C	☐					
		表示、管理に関する計画	☐	☐			A C	☐					

検査の方法-A:実物の目視、B:実物の計測、C:施工関連図書の確認

建設住宅性能評価の現場検査では、工程上、目視検査が困難な部分については、「施工写真や納品書等」(施工関連図書)により施工状況を確認させていただきます。

- 次の事項は、検査時に目視できないことが多いため、あらかじめ、写真・納品書等ご用意いただき、検査対象項目の工事完了後速やかに次工程の建設評価検査時にご提示ください。

工程	写真・納品書等	条件・撮影ポイント等
着工～基礎配筋完了	・地業の状態	材料・締固め状況写真
	・薬剤処理報告書	土壌処理を行う場合[劣化2～]
	・アンカーボルト写真	規格・品質・埋込み長さ・施工状況
	・地盤改良報告書	地盤改良を行う場合
	・設備配管のスリーブ（さや管等）	[維持管理2～]
【検査】基礎配筋工事の完了時		
基礎コンクリート打設～型枠解体	・生コン納品書	
	・耐圧盤厚さ写真	べた基礎の場合
	・防湿コンクリート厚さ写真	布基礎+防湿コンクリートの厚さ
	・基礎出来形寸法	根入れ深さ・立上がり高さ・幅
	・断熱材施工写真（基礎）	[断熱2～]
建方～屋根工事	・屋根、床面材の釘の種類、間隔	[構造2～]
	・断熱材施工写真（床下）	[断熱2～]
	・合板等のF☆等級を示す写真	[空気環境]
防腐防蟻処理	・薬剤処理報告書	土台、柱等を薬剤処理を行う場合
【検査】躯体工事の完了時		
サッシ・玄関ドア取り付け施工	・サッシ、玄関ドアの納品書	[耐火2～、断熱2～、音環境2～、防犯]
【検査】下地張り直前の工事の完了時		
外装下地	・外壁通気層（胴縁等）写真	[劣化2～]
外装仕上げ	・軒裏部材納品書	[耐火2～]
	・外壁材納品書（モルタル除く）	[耐火2～]
内装下地	・内部耐力壁の釘の種類、間隔	石膏ボード等[構造2～]
	・断熱材施工写真（天井裏等）	[断熱2～]
	・玄関、脱衣室手すり取り付け下地写真	[高齢者2～]
内装仕上げ	・内装特定建材F☆等級写真	[空気環境]
	・天井裏等特定建材F☆等級写真	[空気環境]
設備機器取付け	・換気設備写真（品番・ダクト径・経路等）	[空気環境、一次エネルギー消費量4～]
	・専用排水管性状（内面平滑）写真	[維持管理2～]
【検査】竣工時		
竣工	・検査済証（後日 メール又はFAX可）	基準法上確認を要する地域

- 申請する表示等級事項に関わるものを、ご用意ください。
また、上表の[]内に数値の記載があるものは、申請等級がその数値より下の場合は、提示不要です。
- 上記のほかにも、建設評価員の指示により写真等の提示をお願いする場合があります。
検査時に評価員が目視できない箇所は、写真、納品書等を適宜ご用意ください。
- 写真撮影は、表示板等を添えて、撮影した住宅が判別できるようお願いいたします。
- 検査済証はメール又は F A X でも承ります。 メール：seinouhc@jio-kensa.com FAX：03-6861-9237

施工状況報告書【一戸建ての住宅用・軸組工法】

必須項目(第五面)

*自主チェック時期 1:基礎工完了まで、2:躯体工完了まで、3:下地張りの直前の工完了まで、4:竣工時まで

性能表示 事項	施工管理者 記入(報告欄)				評価員 記入(確認欄)										
	項目	確認内容	自主チェック時期				無	検査の方法	確認図書	検査時期	判定結果及び指摘事項の記録				
			1	2	3	4					1次	2次	備考		
劣化の軽減に関する工	外壁の軸組等 □ 変更あり	通気構造等の状態	☐	☒				A	C	☐ 施工写真					
		薬剤処理の方法	☒					C		☐ 薬剤処理報告書					
		薬剤処理の状態	☒					A B C		☐ 写真					
		※JISK1571付属書Aが定められている薬剤を使用する場合								☐ 薬剤処理報告書				薬剤施工登録店名 ()	
		施工中の適切な養生	☐					C		☐ 納品書 ☐ 施工マニュアル					
		薬剤処理の範囲・状態	☐					A B C		☐ 施工写真					
		部材の小径	☐					A B C							
		部材の樹種	☐					A	C	☐					
		土台の防腐・防蟻 □ 変更あり	部材の樹種	☒					A	C	☐				
			薬剤処理の方法	☐					C		☐ 薬剤処理報告書				
	薬剤処理の状態		☐					A B C		☐					
	土台・外壁の取合														
	地														
	浴室・脱衣室 防水	浴室の防水措置	☐	☒				A	C	☐					
		☒ 変更あり 変更申告書による	脱衣室の防水措置(下地)	☐	☐				A	C	☐ 納品書 ☐ 写真				
脱衣室の防水措置(仕上げ)				☒			A	C	☐ 納品書 ☐ 写真						
基礎高さ □ 変更あり	地面から基礎上端又は土台下端までの高さ	☒	☐				A	B							

変更がある場合は「□変更あり」に☑チェックし、余白に変更内容を簡条書きし、変更内容の記載が取まらない場合は「変更申告書による」と記載し変更申告書を提出してください。
 <等級に関わる性能等に影響しないことが明らかな変更に限ります。計算書等の確認を要する場合は変更設計申請が必要となります。>

検査の方法-A:実物の目視、B:実物の計測、C:施工関連図書の確認

施工状況報告書の項目欄に変更内容の記載が収まらない場合は、変更申告書に記載し提出をお願いします。
変更の内容により、変更内容報告欄の記載では説明が困難な場合は、併せて変更図面の提出をお願いします。
※等級に関わる性能等に影響しないことが明らかな変更に限ります。計算書等の確認を要する場合は、変更設計申請をお願いします。

変 更 申 告 書

住宅の名称： ○○様邸新築工事

性能表示事項	変更項目	変更内容報告欄
劣化対策等級	浴室・脱衣室の防水	脱衣室 壁防水措置 下地 シーリング石膏ボード ⇒ 仕上げ ビニールクロスに変更 (等級に影響しません)
一次エネルギー消費量等級	設備機器等	主たる居室の暖房、冷房設備 ルームエアコンディショナー △△-△△△△(区分 い) から ○○-○○○○(区分 い)に変更 (等級に影響しません)
※記入注意事項 ◆住宅の名称 建設性能評価を申請されている住宅の名称をご記入ください ◆性能表示事項 変更のあった性能表示事項(○○等級)を記入します 例：劣化対策等級、断熱等性能等級 ◆変更項目 変更のあった施工状況報告書の検査項目名を記入します 例：小屋裏換気、躯体の断熱性能 ◆変更内容報告欄 変更の内容(変更前、変更後)を具体的に記入してください		